

学校番号	11	学校名	藤枝特別支援学校 焼津分校	校長名	鈴木 ゆかり
------	----	-----	---------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 安全・安心	命を守る危機管理・安全管理体制の整備と対応力の向上	・南海トラフ地震臨時情報発表時や災害等緊急時における緊急連絡体制、引き渡しの流れ等について理解している教員 90% 緊急時の対応を理解している保護者 90%	教員 94% 保護者 83%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、災害等緊急時における連絡体制や引き渡しの流れについて概ね理解している。 ・災害種別に応じた判断や行動の具体化を進めたい。 ・登下校時の避難行動について面談等を活用し定期的に家庭と共有する機会を設定する。
		・不審者・緊急時・登下校途上での発災時に自分がどう動いたら良いかわかる生徒 90%	91%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が不審者対応や登下校中の発災時の行動について理解を深められるよう指導を行った。 ・実際の行動を想定した体験的な学習になるようさらに工夫が必要である。
	教職員一人一人の人権感覚の向上と人権意識の高い生徒の育成	・生徒の手本となる行動を意識し、人権を常に尊重して対応できた教員 100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の手本となる行動と人権尊重を常に意識し、組織的で丁寧な対応を継続的に行う体制づくりができた。
		・相手に気持ちの良い言葉遣いで話すことができた生徒、教員 100%、言葉遣いが良いと感じた保護者 100%	生徒 87% 教員 100% 保護者 87%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は生徒との関わりにおいて相手を尊重した言葉遣いをすることができた。学校全体として安心感のある人間関係づくりができた。 ・子どもの言葉遣いが気になる保護者がいる。社会に通じる敬語の使い方や言葉遣いを学校、家庭でのやりとりで話題にするよう提案していく。
イ 授業	生徒が学びを深め、確かな成長を感じる授業の充実	・人間関係等の困りごとの積極的把握に努め、早期に組織的に対応した教員 100%、早期に対応してもらえたと答える生徒・保護者 100%	教員 100% 生徒 88% 保護者 98%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係等の困りごとを早期に把握し、学年・組織で共有しながら迅速に対応する体制を定着させている。 ・予防的な関わりとしての木曜アンケートや SC の活用を継続していく。
		・適切な実態把握と目標設定、学習評価を行い、授業改善や生徒指導を行った教員 90%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態把握に基づいた目標設定と学習評価を行い、授業改善や生徒指導に概ねつなげることができているが、さらなる質の向上をすすめる。
		・授業をとおして、「学んだことが分かる」「成長を感じる」ことができた生徒・保護者 95%	生徒 91% 保護者 98%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は、授業を通して生徒が学びの理解や成長を実感できるよう指導を行うことができた。

		<ul style="list-style-type: none"> 授業で ICT 端末を使い、課題解決に向け活用することができた生徒・教員 100% 	教員 100% 生徒 96%	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業において ICT 端末を活用し、生徒が課題解決に主体的に取り組める学習活動を安定して展開することができた。
目的を明確にした効果的な業務の遂行		<ul style="list-style-type: none"> ICT を活用して、単元の反省や情報共有を行い、次の授業づくりや進捗状況の共有、引継ぎ等を行った教員 90% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、ICT を活用して(グーグルドキュメント、ノートブック LM)、単元の振り返りや情報共有を行い、次の授業づくりや進捗管理、引継ぎに生かすことができた。
		<ul style="list-style-type: none"> 自己の学びの目的を明確にして各種研修などに参加することで、キャリアステージに応じた自身の資質向上につなげた教員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、自己の学びの目的を明確にして研修等に参加し、キャリアステージに応じた資質向上に主体的に取り組んだ。
ウ 連携	共生社会の実現を目指し、学びある交流・共同学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 焼津分校ならではの活動をとおして、焼津分校のことを積極的にアピールした生徒・教員 100% 	教員 100% 生徒 89%	B	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、焼津分校ならではの特色ある活動をとおして、生徒が分校の魅力を主体的に発信できるよう取り組んでいる。 インスタグラムを開設し、タイムリーな情報発信が開始された。
		<ul style="list-style-type: none"> 目的や目標を明確にした事前学習を行い、生徒の気持ちを高めて交流・共同学習につなげた教員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、目的や目標を明確にした事前学習を行うことで、生徒の意欲を高め、交流・共同学習の充実につなげた。
「より良い生活」「なりたい自分」に向けた本人の歩みを支える連携		<ul style="list-style-type: none"> 意義や活用の仕方、個別の指導計画等とのつながりを確認してキャリア面談や三者面談が行えた教員 100% 	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、キャリア面談や三者面談において、その意義や活用方法、個別の指導計画との関連を確認しながら実施した。
		<ul style="list-style-type: none"> 本人中心で、個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成し、活用した生徒・教員・保護者 90% 	生徒 100% 教員 100% 保護者 91%	A	<ul style="list-style-type: none"> 本人中心の視点で個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成・活用し、指導の充実を図った。
		<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育・職業に関する学習をとおして自己理解が深まり、なりたい自分を描くことができた生徒 90% 	91%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、キャリア教育や職業に関する学習をとおして、生徒の自己理解を深め、将来像を描く力の育成に取り組んだ。
		<ul style="list-style-type: none"> なりたい自分を実習先等関係機関に伝えることができた生徒・教員 90% 	生徒 85% 教員 94%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は、実習先等関係機関に対し、生徒の「なりたい自分」を適切に言語化し、伝える取組を進めた。言語化が苦手な生徒に対してのサポートの強化を図っていく。
		<ul style="list-style-type: none"> 進路に関する情報を担任や進路担当から得ることができた生徒・保護者 90% 	生徒 98% 保護者 100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員は担任や進路担当を中心に、進路に関する情報を計画的に提供し、生徒や保護者が必要な情報を得られる体制を整えた。